

生物多様性地域戦略の 策定への期待

環境省自然環境局
自然環境計画課長
亀澤 玲 治



国連生物多様性の10年

地球のいのち、つないでいこう

本日の内容



はじめに （生物多様性地域戦略とは）

1. 生物多様性国家戦略
2. 生物多様性地域戦略
3. 地域戦略はどのように策定されたか



おわりに （地域戦略策定への期待）

はじめに（生物多様性地域戦略とは）

生物多様性基本法（H20年6月施行）

○第13条第1項

「都道府県及び市町村は、**生物多様性国家戦略を基本として**（中略）
生物の多様性の保全及び持続可能な利用に関する基本的な計画
（生物多様性地域戦略）を定めるよう努めなければならない」



生物多様性地域戦略

<策定事項>

- ① 生物多様性地域戦略の**対象区域**
- ② 生物多様性の保全及び持続可能利用に関する**目標**
- ③ 生物多様性の保全及び持続可能な利用に関し、
総合的かつ計画的に講ずべき施策
- ④ その他必要な事項

1. 生物多様性国家戦略

- 生物多様性の保全と持続可能な利用に関する基本的な計画
- 生物多様性条約第6条及び
生物多様性基本法第11条に基づき策定

1993(平成5年) 生物多様性条約

1995(平成7年) 生物多様性国家戦略

2002(平成14年) 新生物多様性国家戦略

2007(平成19年) 第三次生物多様性国家戦略

2008(平成20年) 生物多様性基本法

2010(平成22年) 生物多様性国家戦略2010

2010(平成22年) 生物多様性条約第10回締約国会議
(COP10:愛知県名古屋市)

2012(平成24年) 生物多様性国家戦略2012-2020

生物多様性国家戦略2012-2020

COP10で採択された新たな世界目標(愛知目標)

- 長期目標 (2050年) 【 Vision 】
「自然と共生する」世界の実現
- 短期目標 (2020年) 【Mission】
生物多様性の損失を止めるために
効果的かつ緊急な行動を実施
- 20の個別目標 (愛知目標) 【Target】



「生物多様性国家戦略2012-2020」

愛知目標の達成に向けた
わが国のロードマップとしての役割

東日本大震災の経験を踏まえた
人と自然との豊かな関係の再構築
今後の自然共生社会のあり方の提示

<http://www.env.go.jp/press/press.php?serial=15758>

<http://www.biodic.go.jp/biodiversity/wakaru/initiatives/index.html>

2013年3月10日 シンポジウム 生物多様性を活かした地域づくりの今 ※無断転載禁止



2. 生物多様性地域戦略

生物多様性基本法(H20年6月施行)

○第13条第1項 (前述)

生物多様性条約COP9(H19年5月)

都市及び地方自治体の参画促進決議

生物多様性国家戦略

2012-2020

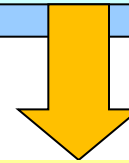
(H24年9月28日 閣議決定)

○具体的施策

策定自治体数

【現状】 17道県(H24年3月)

【目標】 47都道府県(H32年)



○生物多様性地域戦略策定の手引き

(H21年9月策定、H22年5月一部修正、現在改定作業中)

○地域生物多様性保全活動支援事業

【計画策定の委託：国費10／10】(H22～)



生物多様性地域戦略策定の手引き



平成21年9月策定、平成22年5月一部修正

※現在、改定作業中

【手引きの目的】

都道府県・市町村が生物多様性地域戦略を策定する際に必要となる基本的な情報を示すことを通じて地域戦略の策定を推進し、各地域の自然的社会的条件に応じた生物多様性の保全と持続可能な利用を推進すること

【内 容】

第1部：生物多様性地域戦略の必要性

第2部：戦略の策定・推進・進捗管理の全体像

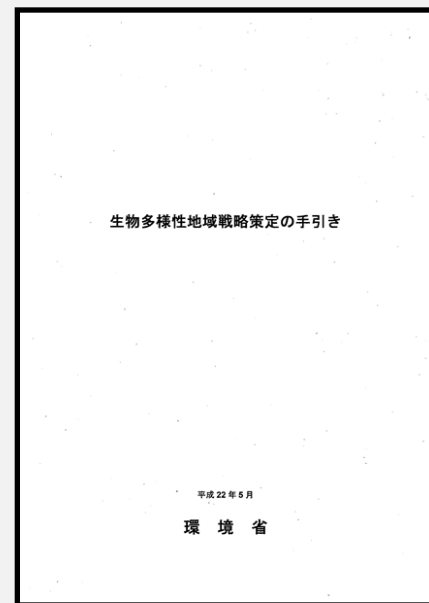
第3部：戦略の策定過程等における参加・連携等の手法

第4部：戦略の内容検討及び推進・進捗管理の手法

参考資料：関係法令、策定事例等

【改定のポイント】

- ・ 既存事例からのフィードバック
- ・ 策定作業の具体的な内容を紹介



ダウンロード：<http://www.biodic.go.jp/biodiversity/local/guide/index.html>

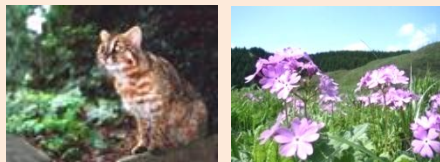
2013年3月10日 シンポジウム 生物多様性を活かした地域づくりの今 ※無断転載禁止



地域生物多様性保全活動支援事業 (H22～)

国土レベルの生物多様性の課題

希少野生動植物種の保存



野生鳥獣の保護管理



外来生物対策



重要地域の保全・再生



地域の多様な主体による生物多様性の保全活動の推進

生物多様性保全計画策定事業 (委託費：国費10/10)

生物多様性保全に関する法律に基づく法定計画等(生物多様性地域戦略を含む)の策定

地方公共団体、NGO・NPO、事業者、協議会など、法定計画等の策定主体

地域生物多様性保全実証事業 (委託費：国費10/10)

生物多様性保全に関する法律に基づく法定計画等に位置づけられた活動

地方公共団体、NGO・NPO、事業者、協議会など、法定計画等に位置づけられた実施主体

生物多様性保全推進支援事業 (交付金：国費1/2以内)

地域の多様な主体の連携・協働による地域の生物多様性保全・再生活動

地域住民、NGO・NPO、事業者、地方公共団体などにより構成される地域生物多様性協議会

生物多様性地域戦略一策定状況一 (平成25年2月末現在)

平成19年	3月	滋賀県				
平成20年	3月	埼玉県、千葉県	5月	生物多様性基本法		
平成21年	2月	滋賀県(追加)	3月	生物多様性国家戦略2010		
	3月	愛知県、兵庫県、長崎県				
平成22年	3月	名古屋市、千葉県流山市、岐阜県高山市				
	支 援 事 業					
	7月	北海道	9月	栃木県	10月	COP10(愛知県)
	11月	北九州市				
平成23年	2月	熊本県、神戸市	3月	福島県、石川県、大分県、さいたま市、千葉県柏市、大阪府和泉市、兵庫県明石市		
	4月	横浜市	7月	岐阜県		
	10月	佐賀県	11月	静岡市	12月	愛媛県
平成24年	1月	愛知県岡崎市	2月	長野県		
	3月	三重県、新潟市、北海道黒松内町、北海道礼文町、東京都大田区、滋賀県高島市、兵庫県西宮市、兵庫県宝塚市				
	5月	東京都、福岡市	6月	新潟県佐渡市		
	9月	生物多様性国家戦略 2012-2020	11月	東京都葛飾区		

3. 地域戦略はどのように策定されたか

地域戦略の取組状況 (2013年2月末)

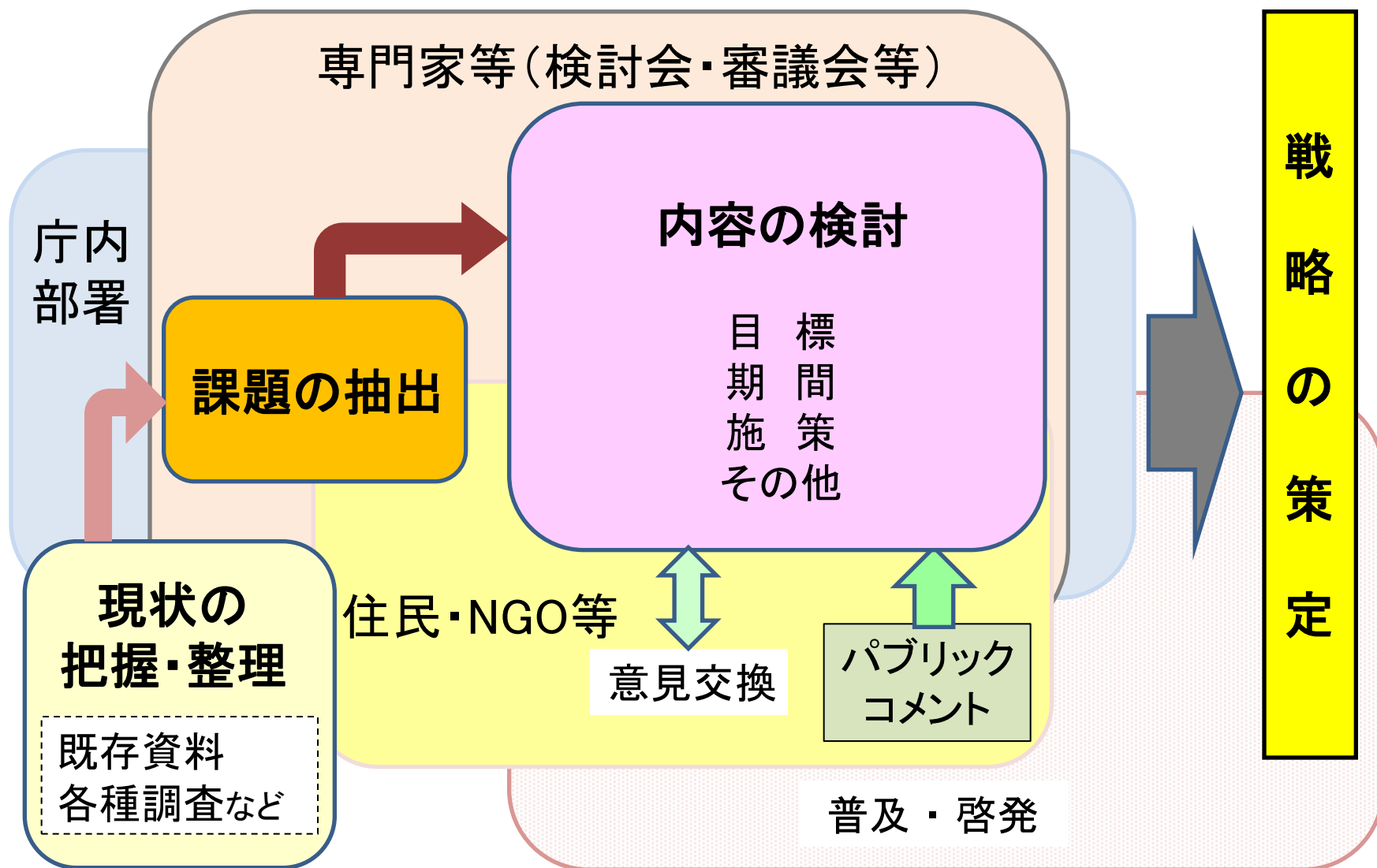
	策定済み	策定中	検討中等	自治体総数
都道府県	18	20(+2)	5(+11)	47
政令指定都市	8	5	7	20
市区町村	14	28	約20	1722
合 計	40	53		1789



※()は改定

- ◆改定について、作業中(愛知県、兵庫県)
25年度から着手予定(北海道、滋賀県、長崎県)
- ◆環境基本計画の中に地域戦略を位置付けている例もある
(佐賀県、東京都大田区など)

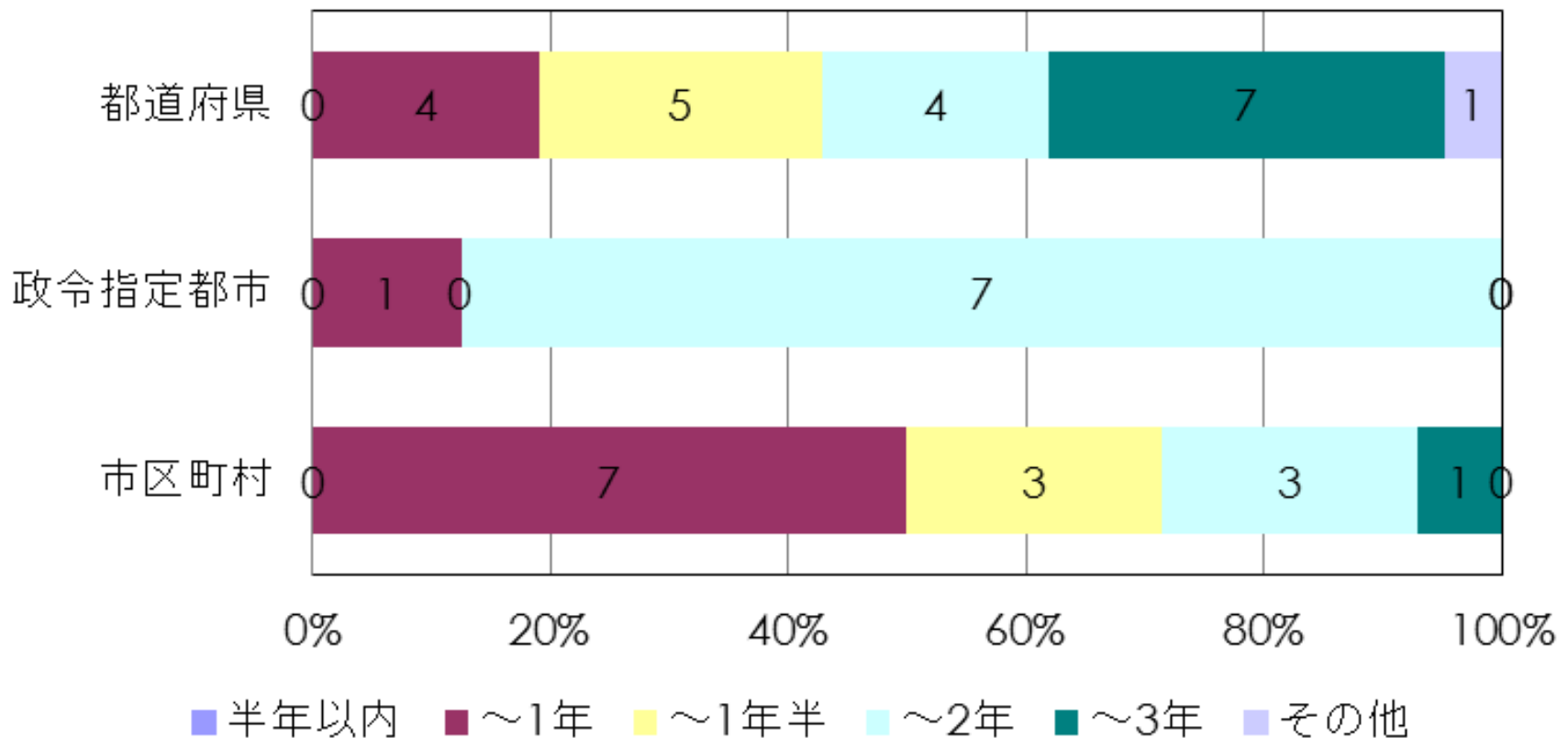
策定までの流れ(一般的なパターン)



策定に要した期間

戦略づくりにばかり時間をとられていけない！

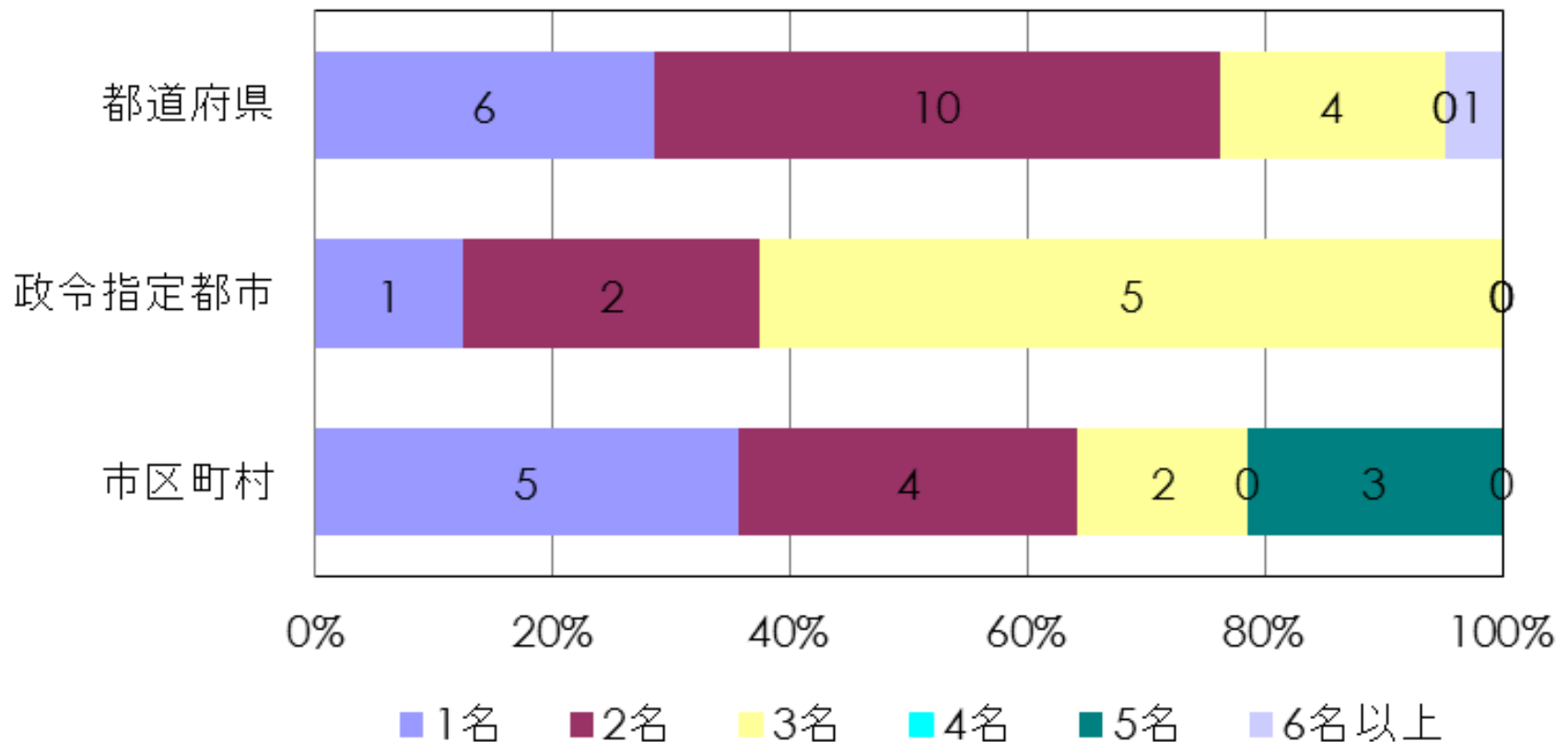
策定に要した期間



策定の体制（１）

スタッフがいない！

策定に従事した職員数

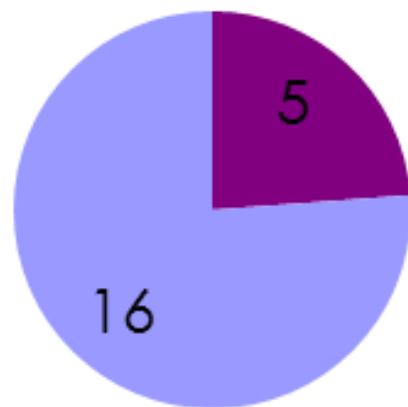


策定の体制（2）

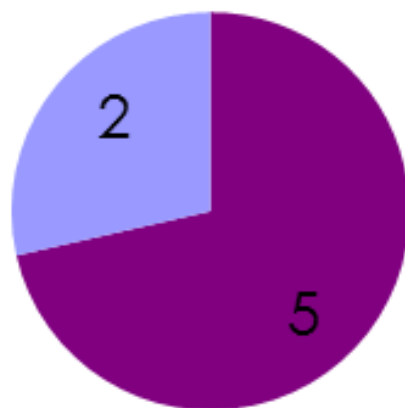
→ 外部機関などとの連携・活用

【 委託の活用 】

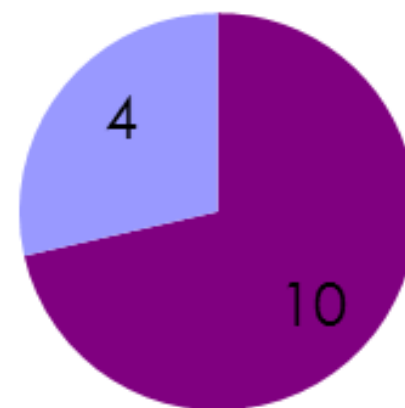
都道府県



政令指定都市



市区町村



■ あり
■ なし

【 NGO等との協働 】

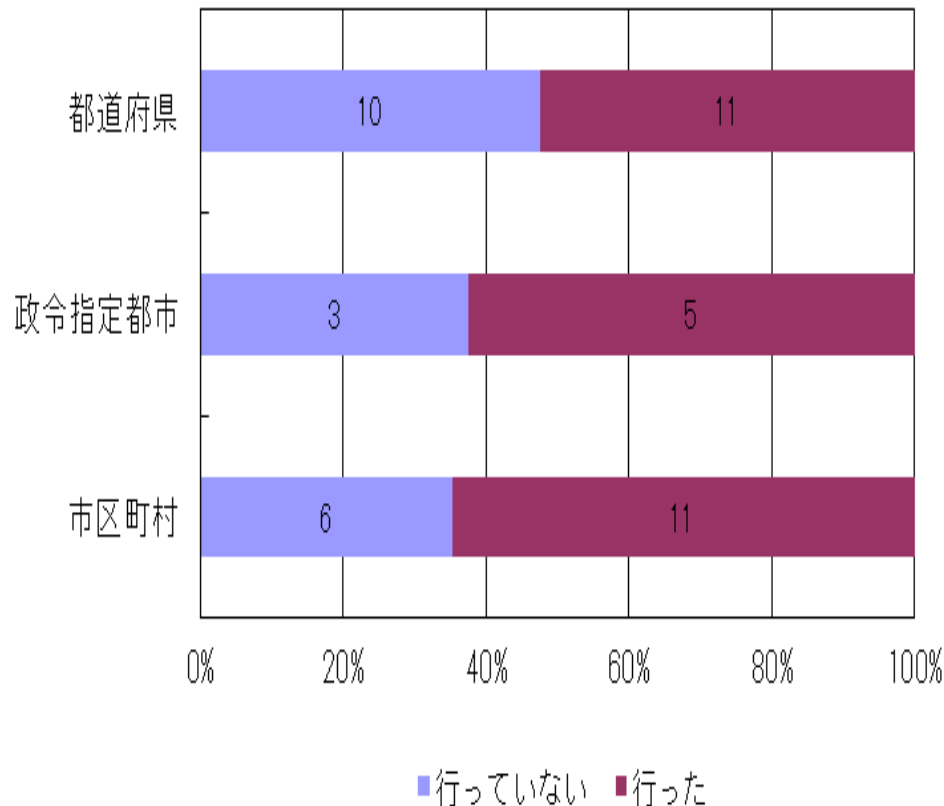
○普及・啓発活動（フォーラム等）の共催

○生物相等の調査（調査の実施や資料の提供）

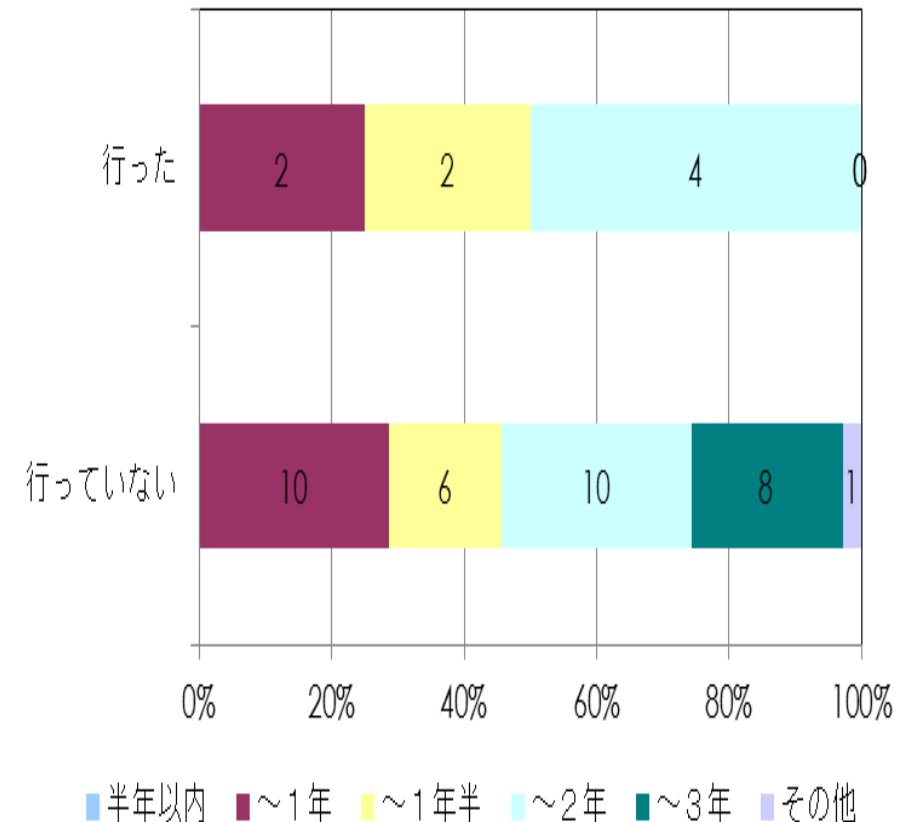
どんなことを行ったか

現状と課題の整理に生物相調査は必須か？

戦略策定のための新たな調査



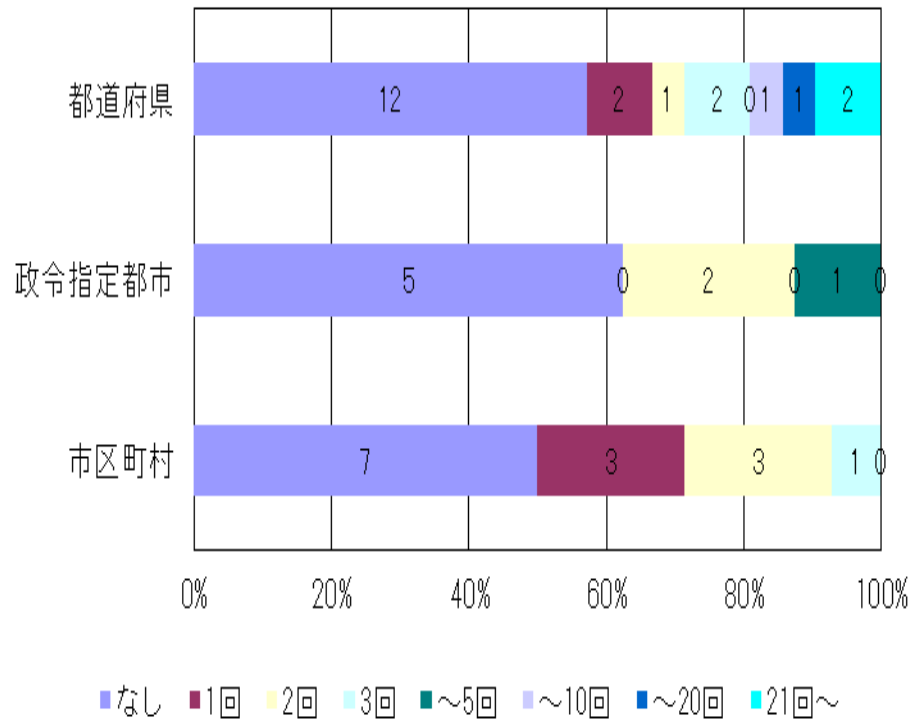
生物相調査の実施と戦略策定に要した期間



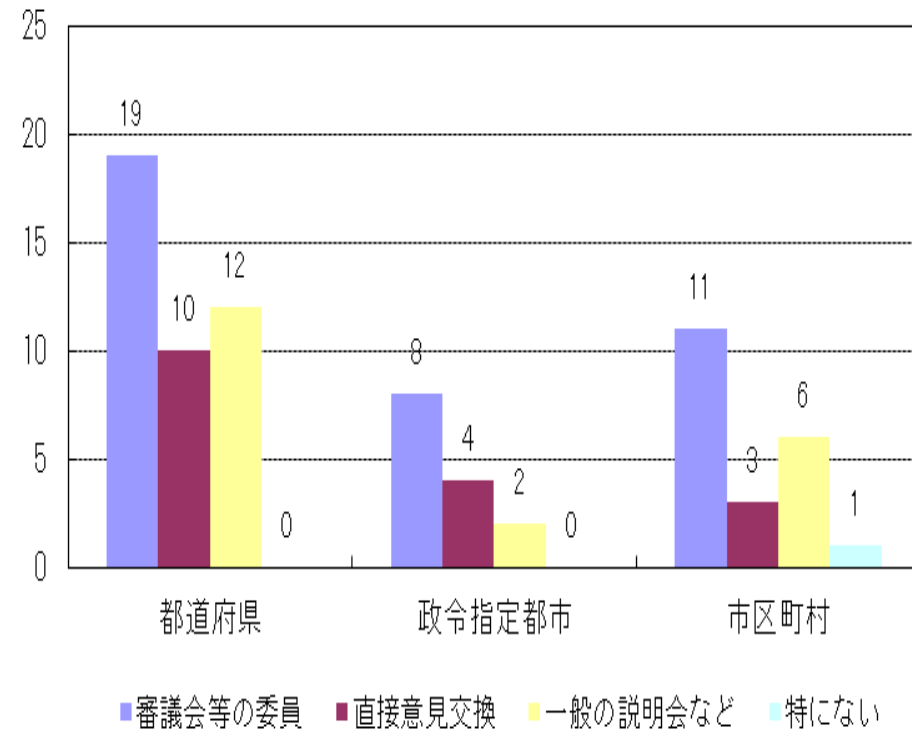
多様な主体の参画

パブリックコメントだけか？

説明会等の実施状況



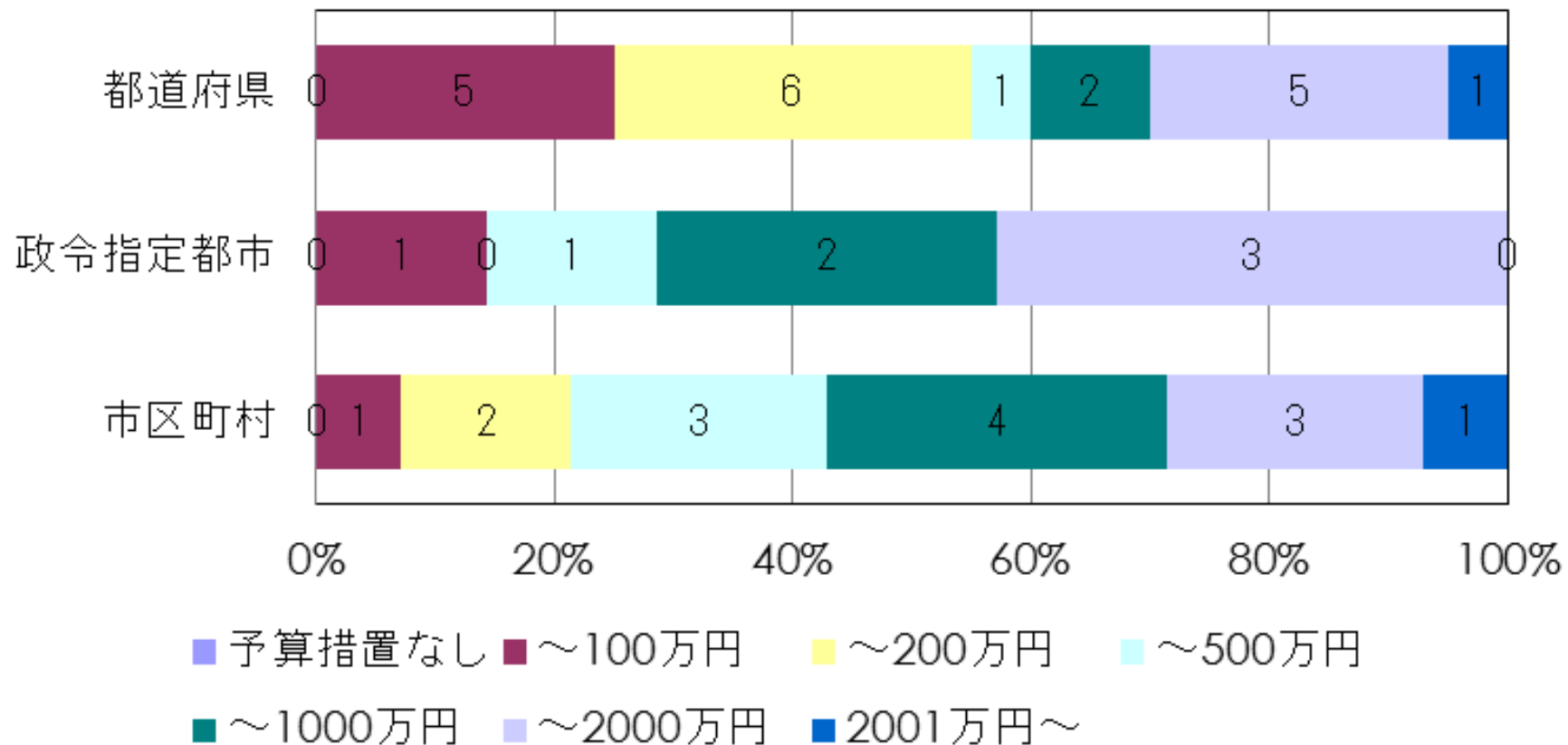
自然保護団体等の参加



策定に要する経費

予算がないとできないか？

策定に要した費用（総額）



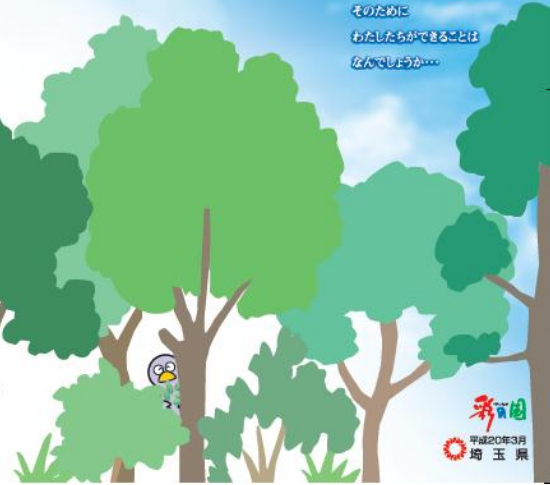
生物多様性地域戦略の策定事例・1 ー埼玉県ー

生物多様性保全県戦略



わたしたちが
ずっと安心して暮らすために
自然の中さまざまな生きものを
守っていくことが大切です

そのために
わたしたちができることは
なんですか……



平成20年3月
埼玉県

家庭、事業所等での取組可能 ↓ な事例を紹介

生物多様性保全県戦略

(3)工場、事業所での取組

緑土の代表となる緑地空間として自然環境を守り、再生しましょう。

①事業所の緑化

事業所とは、スーパーやショッピングセンター、運送会社の配送センター、会社の事務所、公共施設などをいいます。

このような場所では、小さな池は別として、普通、周囲に樹木などが植えられていると思いますが、その木をよく見てみましょう。大部分が移入種や置き草種ではないでしょうか。

②生物多様性への配慮

工場や事業所も家庭での取組と同じように、在来種を可能な限り植えこめるようにします。

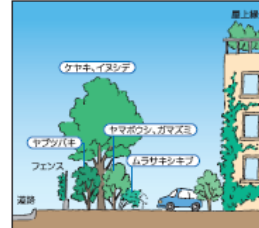
工場や事業所の多くは、一般の家庭より広い面積があるので、さらに、効果的な取組を行うことも可能となります。

工場などでは、植木や芝が植えられている場所を緑地と呼びますが、緑地を可能な限り「一か所にまとめて植木林に生えているような木を植えこめる」。

高くなる木だけでなく、ヤマツツジやムラサキキキなどの低木と併せている木を植えたり、地面に草が生えるようにしておくことも一つの方法です。まとまった緑地が広げば広いほど、いろいろな動物や植物が育ちやすくなります。

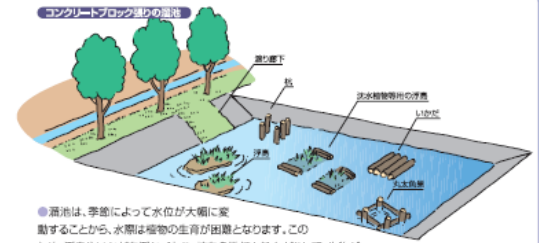
駐車場に少しでも木を植えたり、洪水調整池が設けられている場合は、野生生物が生息・生育できる空間をいっしょに整備した池に改造し、緑地につなげましょう。

図8 工場緑化の例

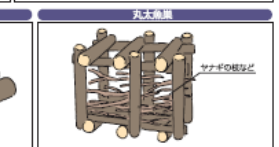
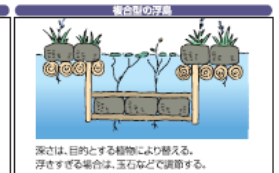
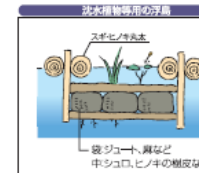


ポンチ絵を多用してわかり ↓ やすく取組イメージを紹介

「生物多様性の保全に向けての基本的事業」



● 溜池は、季節によって水位が大幅に変動することから、水質は植物の生育が困難となります。このため、浮島やいかだを浮かべたり、杭を多数打ち込んで、生物が定着できる場所を少しでも増やします。



● 生育を目的とする植物に合わせて、訪れる深さは調整できるようにします。

● 浮力が大きすぎるときは、石などを敷きつけて調整します。

● 浮島などの下に伸びた根は、魚などの隠れ場所、開場、産卵場所などになりますが、ソウキが生息している所では、食べられないような網などで囲います。また、根の腐りになるようなものを出しておく方法もあります。

←指標生物の一部

指標生物	主な生息地	指標生物が表す環境
	低地 台地 丘陵 山地	
ニッコウムササビ	○ ○ ○	大木のある良好な森林に生息する。
ニホンリス	○ ○ ○	森林を伝って移動するため広い森林の分布を必要とする。 広大な森林の連続性が確保されていることを示す。
アオゲラ	○ ○ ○ ○	常緑広葉樹林、針広混交林などに生息する。良好な森林環境 が存在していることを示す。
カワセミ	○ ○ ○ ○	河川、池沼、用水路等の水辺に生息する。良好な水辺環境、特 に土が露出した土層や崖などが存在する必要がある。
ヒバリ	○ ○ ○	畑、草原、荒地、河原等に生息する。 自然的、半自然的なオープンスペースの存在を示す。
サシバ	○ ○	谷津田に面した斜面林に営巣し、谷津田と林を餌場としている。 広域的な谷津田環境が残されていることを示す。
サギ類	○ ○ ○	水田や水路を主な生活環境とする水田地帯を代表する鳥類。 カエルなど生きものが豊かな水田に生息する。
オオヨシキリ	○	ヨシ原を代表する鳥。
セッカ	○	湿地や湖沼周辺のヨシ原を主な生息地とする。

2013年3月10日 シンポジウム

生物多様性を活かした地域づくりの今 ※無断転載禁止

生物多様性地域戦略の策定事例・2 ー明石市ー



- ・ 水と緑でつなぐ命の**ネットワーク**づくりを推進
- ・ まとまりのある自然を**拠点**として選定
- ・ 地域別に**具体的な取組**を整理
- ・ 初期・中期・最終の段階を踏んだ**目標設定**
(進捗状況に応じた見直しを実施)

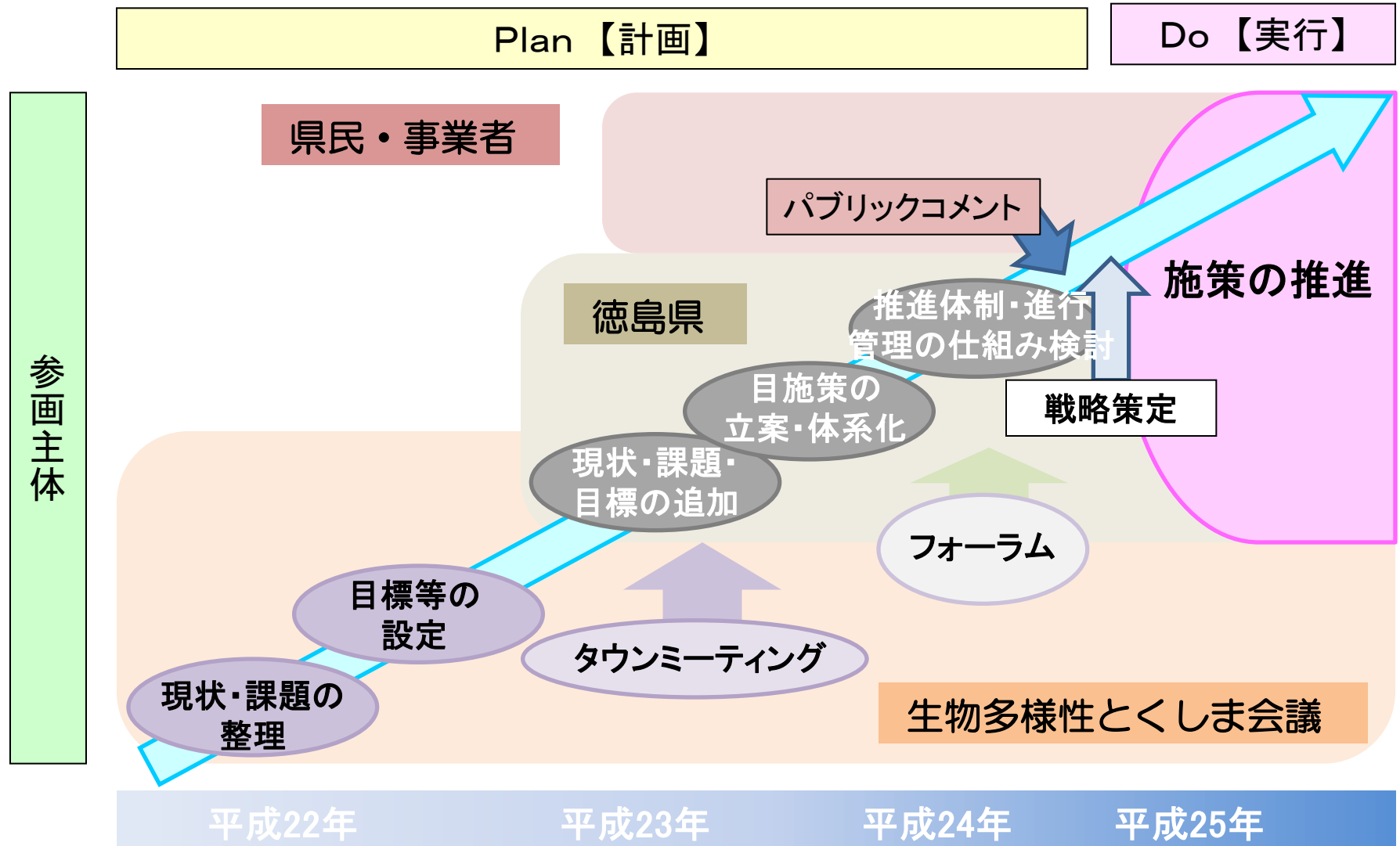


2013年3月10日 シンポジウム

生物多様性を活かした地域づくりの今 ※無断転載禁止

生物多様性地域戦略の策定事例・3 ―徳島県―

～ 市民参加による地域戦略の策定～



2013年3月10日 シンポジウム

生物多様性を活かした地域づくりの今 ※無断転載禁止

おわりに（地域戦略策定への期待）

地域戦略の策定に向けたハードルは高くない

体 制：担当職員は2名程度が多い

費 用：1,000万円以下が過半数（国費10/10の支援あり）

期 間：1年半～2年程度

市民・NGO等の参画：早い段階からの協働

地域における機運の醸成



地 域 戦 略 の 策 定



魅力あふれる地域の発展



自然の仕組みを基礎とする真に豊かな社会

ご静聴、ありがとうございました



タヨちゃんサトくんとなかまたち ©環境省
UNDB-J キャラクター応援団

地球のいのち、つないでいこう